

「摩周和牛」と地域団体商標登録への取組

■「摩周和牛」とは■

「摩周和牛」は、北海道東部の弟子屈（てしかが）町に位置し国内で最も高い透明度を誇る摩周湖の麓にて、大自然の空気を吸い、水を飲み、牧草を食べ、のびのびと育てられた和牛です。

生産者は、約 200 頭の牛一頭一頭の特徴を把握し愛情たっぷり育てており、赤身・脂の風味にこだわり、口当たりの良い、子供から大人までおいしく食べて頂ける和牛肉です。



■「摩周和牛」へのこだわり■



「摩周和牛」は、北海道で生まれ育った繁殖雌牛と畜主が厳選した種雄牛から生まれた牛であり、繁殖雌牛は、黒毛和牛としての顔品、角、骨味、皮膚、毛質、体の締まりなど体質にこだわり、厳しい自然条件でも生き抜く生命力の強さを特徴としています。生産から肥育に至るまでこの地域で一貫して行われ、肉と脂の味をとことん追求したとても希少な和牛です。

弟子屈町では、焼肉店「石花木金」で食べることができるほか、「摩周湖農協 A コープてしかが店」や「テシカガマルシェ」で購入することができます。

■地域団体商標登録への取組■

生産者が丹精込めて育てた「摩周和牛」を全国に広めていこうという中で、自分達の名前であることを確立することが重要であり、これにより消費者にも安心して手に取ってもらえると考え、地域団体商標出願に至りました。

「摩周和牛」は出荷頭数が少なく周知資料の準備が難しい状況でしたが、摩周和牛ロゴを作成して PR に用い、道外の催事などでも積極的に摩周和牛を販売して実績を作りました。

今後は、地域団体商標を有効に活用し、模倣品への対策やライセンス契約、広告活動などを通じて更なる「摩周和牛」のブランド拡大を図っていきます。

【登録情報】

| | |
|----------|---|
| 商標 | 摩周和牛 商標登録第 6885316 号 |
| 出願日 | 2021 年 8 月 25 日 |
| 登録日 | 2025 年 1 月 15 日 |
| 権利者 | 摩周湖農業協同組合 |
| 指定商品 | 29 類 北海道川上郡弟子屈町摩周地域及びその近隣地域で生産された 和牛の牛肉 |
| 連絡先 | 摩周湖農業協同組合 電話番号：015-482-2104（代表） |
| 関連ウェブサイト | https://www.jamashuuko.or.jp/special/wagyu/ |